

静岡県立科学技術高等学校

質問にお答えします

Q & A

一日体験入学等でよくある質問 学校生活等について

Q：通学方法を教えてください。

A：電車やバスを利用して通学している生徒が約 55%、自転車や徒歩で通学している生徒が約 45%程度です。（令和 7 年度在校生）

Q：遠方からでも通学できますか？

A：はい。J R 東静岡駅から徒歩約 10 分、静岡鉄道長沼駅から徒歩約 4 分の位置に学校があります。遠方からは、J R やバス（高速バス含む）を利用し、東は小山町、西は掛川市から通学している生徒がいます。

Q：在校生の男女の比率を教えてください。

A：年度や学科によって異なりますが、全体では男子生徒が約 80%、女子生徒が約 20%程度です。建築デザイン科は、約 40%が女子生徒です。（令和 7 年度在校生）

Q：男子生徒が多い中で、女子生徒はうまくやっていますか？

A：これまで全科に女子生徒が入学しました。例年、約 150 人程度の女子生徒が在籍しています。実習等でも何ら支障なく、元気に楽しく取り組んでいます。

Q：女子生徒が活動できる部活動はありますか？

A：運動部では、陸上競技、テニス、弓道、剣道、バドミントン、少林寺拳法、水泳、卓球があります。また、マネージャーとして活動する生徒もいます。文化部と学科研究部は、全ての部活動で参加できます。

Q：体育の授業は女子も男子と一緒に受けるのですか？

A：男女別々に体育の授業を実施しています。例えば、ロボット工学科と建築デザイン科の 2 クラス合同で授業を行い、男女が別々の集団で授業を行っています。

Q：勉強と部活動の両立は大変ですか？

A：勉強と部活動の両立は大変ですが、多くの先輩たちが部活動で活躍しており、勉強も頑張っている先輩たちの進学や就職の夢をかなえています。勉強を頑張ることが部活動につながり、部活動を頑張ることが勉強にもつながるという考えで、どちらも一生懸命取り組む生徒が多いです。

Q：部活動で運動部と文化部の部員数を教えてください。

A：年度によって異なりますが、令和 7 年度においては運動部の所属が 51%、文化部の所属が 45%、生徒会等の所属が 4%です。

Q：アルバイトはできますか？

A：学業優先のため原則禁止です。しかし、家庭の事情等により特別な事情がある場合は許可することがあります。

Q：修学旅行はいつ、どこへ行くのですか？

A：2 年生の 12 月上旬に、九州地方や中国地方で研修を中心とした修学旅行を実施します。今後においては、旅行先を変更する場合があります。（令和 7 年度）

入試等について

Q：入学後、特別な事情が出てきた場合、転科はできるのですか？

A：それぞれの科でカリキュラムが違いますので、入学後の転科は認められません。したがって、どの科を希望するかは真剣に考える必要があります。体験入学やオープンスクール、学校案内等を利用して各科の内容を詳しく調べ、どの科を受験するかを決めてください。

Q：視力が弱かったり、色覚多様性（色覚異常）などがあると出願できないのですか？また、就職の際に困ることはありませんか？

A：視力・色覚で入試の選抜に差をつけることはありません。就職に関しては、ほとんどの企業で制限はありませんが、一部の企業では仕事の性格上、選考試験で制限を設けています。

Q：学校見学はできますか？

A：はい、できます。科学技術高校を知ってもらうために、8月上旬に一日体験入学、9月下旬にオープンスクール、10月下旬に文化祭を行っています。詳しくは本校HPをご覧ください。

Q：施設・設備について教えてください。

A：ホームルーム教室は冷暖房が完備されており、快適な環境で授業を受けることができます。また、実験・実習棟には専門的な学習ができる環境が整っています。運動施設には、全面人工芝のグラウンドや体育館、50mプールなどが整備されています。食堂と購買があり、パンや飲み物などの自動販売機も多数設置されています。

Q：入学後に必要な経費はどのくらいですか？

A：工業科と理数科で異なり、3年間で工業科は30万円程度、理数科は47万円程度となります。（授業料を除く）

Q：卒業後の進路について教えてください。

A：本校の強みは、進学も就職もできることにあります。進学と就職の割合は、例年、進学が60%、就職が40%程度です。また、就職については、開校以来、就職内定率は100%です。
理数科については、例年ほぼ全員が進学しています。令和6年度は、60%以上の生徒が国公立大学へ進学しました。

Q：電子物質工学科では、主にどのようなことを学習しますか？

A：電子物質工学科では、電子回路の制御や物質を安全に取り扱う技術を学習します。プログラミングによるミニカーの自動制御を行ったり、実習を通して物質を分離したり合成したりさせる反応の仕組みを身に付け、安全で環境にやさしい製品作りを学びます。

Q：都市基盤工学科の学習内容と卒業後の進路について教えてください。

A：都市基盤工学科では、主に土木関係を学習します。進路先は、例年公務員希望者が多く、令和5年度、6年度はクラスの5人に1人が静岡市役所に合格しています。

Q：建築デザイン科の製図について教えてください。

A：建築デザイン科では、主に建築やインテリアのデザインなどについて学習します。製図については、卒業後、一級建築士試験や二級建築士試験の合格を目指して、基礎となる線の練習から2階建て住宅などを描きます。

Q：理数科でも工業について学習できますか？

A：はい。工業科の豊富な施設、設備等を活用したものづくりを通して、工学的な感性を培うことができる科目があります。